

## 11年目を迎え、次の10年への新たなスタートを切る

### 「 BioFach Japan・オーガニック EXPO」

チェンジ・チャレンジ・ニッポン！  
日本がオーガニックに目覚めるとき

2011年9月1日

報道関係者各位

ニュルンベルクメッセ(日本代表部:東京都新宿区 代表 ハインツ・W・クールマン)は、今年、11回目の『BioFach Japan( BioFach Japan)オーガニック EXPO』を11月1(火)~3日(木・祝日)に東京ビッグサイト東4ホールで開催します。

昨年はおかげさまで、10回目の記念開催をこれまでにない規模と内容で、成功裏に閉幕しました。その成果を基に、BioFach Japan・オーガニック EXPO2011は次の10年に向け、「チェンジ・チャレンジ・ニッポン！ー日本がオーガニックに目覚めるとき」をテーマに開催します。

#### ● 今年のテーマ:チェンジ・チャレンジ・ニッポン！ー日本がオーガニックに目覚めるとき

3月11日に東日本大震災、それに続いて福島原子力発電所の事故が発生しました。とりわけ原発事故は人と自然の健康に配慮した有機農業への努力を一瞬のうちに無にしていきました。原子力が一番効率的な電力だと納得させられていた国民も、大きな負担を強いられる今回の事故で別の選択肢もあると確信をもったと思います。戦後、農薬や化学肥料を多用した効率的な農業こそが、国民の食を賄う方法だと、慣行農業が推進されてきましたが、ここにも別の選択肢があることがだんだんわかってきたと思います。電気や食品を過消費する必要はないことを認識し始めたのではないのでしょうか。

そんな今こそ、日本が広くオーガニックに目覚め、変わるべき時だとの思いを込めて、今年のBioFach Japan・オーガニック EXPOのテーマを「チェンジ・チャレンジ・ニッポン！ー日本がオーガニックに目覚めるとき」としました。

今や、「オーガニック」はBioFach Japanの専売特許ではなくなり、さまざまな展示会で「オーガニック」が打ち出されています。それでも、「オーガニック」はBioFach Japan・オーガニック EXPOが一番！といわれる展示会をめざし、開催いたします。

今こそ、チェンジ・チャレンジ・ニッポン！ー日本がオーガニックに目覚めるときです！！

## ● ビオファジャパン・オーガニック EXPO2011 の見どころ

### ■ オーガニックフード・ギャラリーとナチュラル&エコ・プラザに展開する世界中から集まる有機農産物・加工食品、こだわりの自然・伝統食品

今回の原発事故を契機に、安全な農産物を求める消費者の関心も高まっています。「有機・オーガニック」という言葉もだんだん浸透してきました。IFOAM JapanのOMRプロジェクトが昨年発行した「日本におけるオーガニック・マーケット調査報告書」でも、日本国内における有機食品の市場規模を1300億から1400億円と推定。特別栽培や減農薬など環境に配慮した商品の市場規模はその5倍の6000億円程度とし、この分野の将来性を強く暗示する内容になっています。また昨年、EUが、限定的ではあるものの日本の有機JASの同等性を認めたことで、有機農産物・加工品の海外市場への扉も大きく開かれようとしています。

今年も、農林水産省の有機農業産地収益力向上支援事業の「農産物マッチングフェア」がオーガニックEXPO会場にて開催されます。全国から20以上の有機農業推進事業地区の協議会が参加し、有機農業により生産・加工された産物を展示し、バイヤーとの商談が設定されます。今回もマッチングフェアの特別セミナーを11月2日にはビジネス向けの内容、3日には一般向けの内容で準備します。農林水産省も12月に改正される有機JAS法についてのセミナーを行います。業界関係者には必見です！

事業地区協議会以外の、たとえば昨年以上の規模で出展する島根県など日本の有機認証済み農産物・加工品メーカーをはじめ、海外からもグループ出展など、多数の食品企業が参加します。今年は、食品の新製品コーナーが初めて設置され、ここで興味ある製品を見つけたバイヤーをブースに誘導する仕組みを作ります。

### ■ オーガニックウエディングを提案するオーガニックコットン・ストリート

今年も、コットンストリート界隈で、オーガニックウエディングの特設コーナーを作ります。オーガニックコットンを使った和・洋装のウエディング衣装やブーケを中心に、オーガニックフラワー、オーガニック引出物、コスメやエステなど、ウエディングにかかわる商品の提案を行います。華やかなウエディングドレスショーも企画しています。

### ■ コスメ・パーソナルケアのウエルネス・パーラー

ウエルネスゾーンには今年も国内外のオーガニック・ナチュラルコスメやパーソナルケア用品が集まります。実際に手にとって試してみて、ブースへと誘う、毎年好評の化粧品のお試しコーナーも設置。また、世界をリードするドイツの2大コスメ認証機関、デメター化粧品に関するセミナーやBDIH責任者によるEUの基準の現状と市場の最新動向・トレンドに関するセミナーも注目です。

### ■ 国際森林年を背景にした健康な住まいと中小機構のNIPPON MONO ICHI

今年「国際森林年」であり、昨年施行の「木材利用促進法」が効果を発揮し始める年なので、「木の復権」をテーマに官学から講演。低層から高層の建築が木造で可能になれば、都市が「森」になり、人にも環境にも優しいオーガニックな空間が生まれます。その一步をブースで、セミナーでご紹介します。

また、独立行政法人中小企業基盤整備機構のNIPPONN MONO ICHIのブースが初めてオーガニック EXPOに展開します。ここには、全国からパーソナルケア用品を中心にナチュラル&エコ志向の製品が揃います。セミナーでは、出展社の製品とバイヤーとのマッチングをスタ誕方式の公開で行います。

● **世界とつながるバイオファジャパン・オーガニック EXPO だからできる国際色豊かなセミナー**

今年のセミナーにも海外から多数の講師が参加します(詳しくは添付資料をご参照ください)。特に注目はドイツ有機専門誌の編集長による、ヨーロッパではいかにしてオーガニック製品の販売に成功したのか、現状や今後の展望に関する講演です。また、中国の最新オーガニック事情も見逃せません。聴講は無料ですが、今年はセミナー会場入口に募金箱を設置し、東北復興の協力を呼びかけます。

● **東北復興イベントー被災地の女性たちが作るクリスマスオーナメント**

東日本大震災被災地との「仕事づくり」と「こころの交流」を目的とする『グランマのX'masオーナメント(おばあちゃんが作ったクリスマスツリー飾り)』を会場で販売。宮城県石巻市大指、岩手県久慈市・陸前高田市でオーガニックコットンの端布を使って生産したオーナメントは、購入者の応援メッセージとともに会場内に設置したクリスマスツリーに飾り、会期後には被災地の小中学校等に寄贈予定です。

本件に関するお問い合わせは

BioFach Japan オーガニック EXPO 事務局 ABC エンタープライズ(株)内 担当：中村  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7-210  
Tel: 03-5369-6788 Fax: 03-5369-7759 E-mail: biofach@abcenterprises.jp